

家族でニコニコチャレンジ②取り組みの様子



令和4年11月～12月実施

● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」の第2回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

2回目は、就学を意識して目標を設定した家庭が多く「6身の回りの片づけ」に取り組む子が多くなりました。家族チャレンジャーの取り組みは「4ふれあいタイム」が1回目と同様に多かったです。ふれあいタイムを確保するために生活リズムの見直しにもつながっていました。また、目標を話し合いで決めた家庭からは、子どもなりに自分の考えを持っていることに気付く機会にもなったという報告もありました。

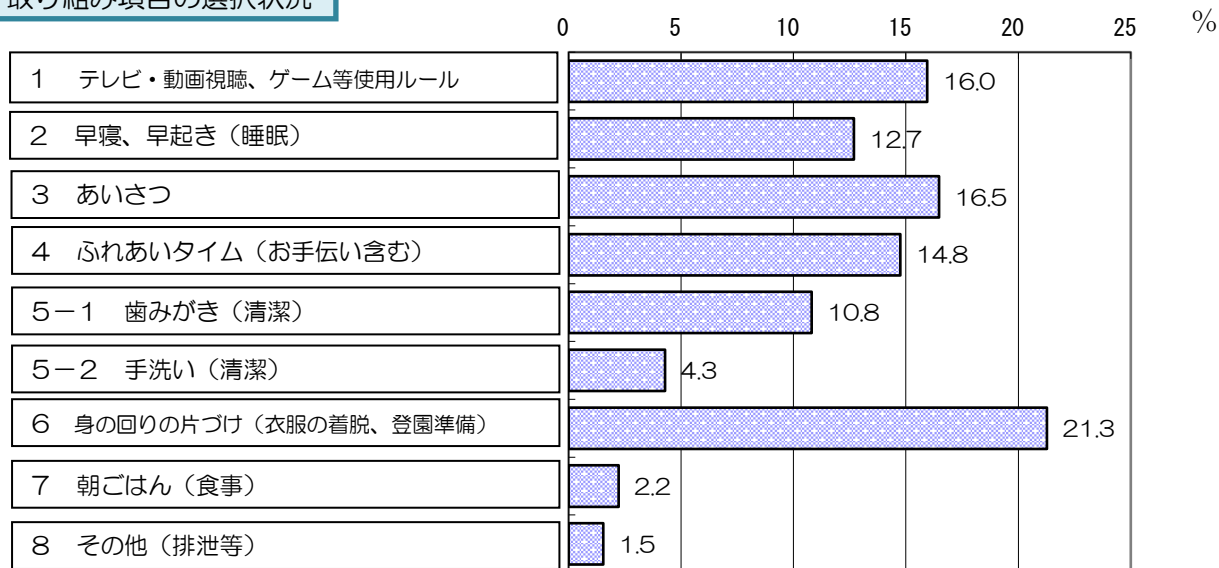
園でもニコニコチャレンジについて話題に取り上げたことで、子どもたち同士で励まし合い、頑張る意欲の継続になったとの報告があり、子どもたちの生活習慣の確立につなげることができました。

<取り組み状況>

集計協力園/年長児在園 42園/44園

回収率…92.0% (報告園の提出者数/報告園での配布者数)

取り組み項目の選択状況



家族チャレンジャーの取り組み状況

※ 複数回答含む

家族チャレンジャーとして取り組んだ方の内訳

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他	なし
111人	377人	28人	33人	7人	17人	0人	0人	7人	6人

※家族全員で取り組んだ家庭もありました

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ

取組項目番号	1	2	3	4	5-1	5-2	6	7	8
人数 (人)	72	74	97	226	37	25	33	6	9
割合 (%)	12.4	12.8	16.8	39.0	6.4	4.3	5.7	1.0	1.6

保護者からの感想等

《子どもの様子に関わる感想》

(お手伝いにチャレンジ) 家族の一員として何か仕事を任せてもらうことが嬉しかったようで、頑張っていました。

前回と同じ目標にチャレンジしました。前回よりも子どもが成長していると感じることができました。

目標を決めてから、やる気満々。母がご飯を作る時「お手伝いする」ってエプロンと三角巾を持ってきて、頑張ってお手伝いをしてくれていました。よく頑張りました。

悲しい顔の日もありましたが、正直に書き、次の日は意識して取り組んでいました。ニコニコが続くと本人も嬉しそうでした。

《家族の関わり方に関わる感想》

「子は親の鏡」自分ができていないことは、子どもに言えない。「あいさつ」だけはできる子になってほしい願いがあるから、これからは親が一番頑張ります。(あいさつにチャレンジ)

あいさつの仕方でもこんなに違うのかと改めて感じました。「自分が笑顔だと相手も笑顔になる。」笑顔は伝染するんだと思い、忙しくても子どもたちに笑顔を見せていきたいと思います。

「1日1つお手伝い頑張るぞ!」のチャレンジ。雪の日が多かったので、早朝と晩と2回張り切って除雪をしてくれました。大人から見るとほぼ雪遊びでしたが「チャレンジ成功!」と晴れ晴れした様子でした。雪遊びになっても叱るのではなく、チャレンジしたことを親と一緒に喜んだことで、お手伝いすることが嬉しいという気持ちにつながっていると感じました。

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果等に関わる感想》

親が子どもに寄り添いながらよい手本になると意識して取り組んだ様子が伝わってきました。取組は、子どもの成長を感じるきっかけにもなっていました。

《園での子どもたちの様子に関わる感想》

「こんなことにチャレンジする!」とお家の人と相談した目標や取り組みの様子を嬉しそうに話してくれました。一緒に取り組む家族がいることがよい刺激になっていると感じました。

今回の取り組み結果と次年度の取り組みに向け

☆ 今年度の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- 各園でお便りや園行事などの機会を通じて、手洗いの仕方や歯磨き指導の様子、早寝早起きの習慣の大切さなどを発信し、基本的な生活習慣の確立に向けて家庭と連携できた。
- 子どもたちの園での様子やチャレンジカードから家族とのいい時間になったことが伝わってきた。家族の取り組みの様子から、子どもが望ましい習慣を身に付けるには、周囲の大人がよい手本になる必要を改めて感じた。
- ニコニコチャレンジをきっかけに、日ごろの家族の過ごし方を見つめ直すことができていると感じた。また、目標を決めて取り組んだことで、親子ともによりよい結果につながっている。継続したいとの意見も多く、習慣付けるいい機会になっている。
- 朝、忙しそうにしている家庭や時間に余裕がない方は14日間の取り組みが大変そうであったが、そういう家庭には園でも声掛けをしながら見守っていきたい。

☆ 次年度の取組みに向けて ☆

- 取組期間の長さについては、家庭の事情により長い短いなどの意見はあるが、生活習慣の見直しや子どもたちの習慣付けのきっかけとなっているので、来年度も継続して実施する。
- 家族と一緒に「目標」を設定することが子どもによりよい影響を与えているとの意見が多いことから、園と連携しながら基本的な生活習慣の大切さや親子のふれあいの大切さを発信しながら「家族」での取り組みを継続する。